

問 環境アセスの問題点について。

答 山鳥坂ダム建設事業環境影響評価準備書での動物の予測は、学術上又は希少性の観点から選定された重要な84種について、現地調査等から推定した生息環境又は確認地点と改変区域とを重ね合わせるにより行われています。

アユは準備書の予測評価の対象外であるため取り扱っておらず、「※ミゾゴイ」は事業実施による直接改変により生息環境の一部が変化し、また建設工事等によりその付近は生息環境として適さなくなる可能性があると考えられています。

しかし、主要な生息環境の変化の程度は小さく、また事業実施区域の周辺地域は生息環境が連続して分布することから、生息は維持されると考えられ、事業実施による影響は小さいとの予測により、環境保全の検討は行われていません。

なお、移植等には、専門的な要素があるため、動植物の保全措置等について技術的な助言を得る目的として専門部会が設置され、具

体的な検討を実施すると伺っています。

※ミゾゴイ
サギ科の夏鳥。台湾・フィリピン等から日本に繁殖のために飛来する。絶滅危惧種。

まちづくりについて

問 肱南・肱北地区の住みよい環境作りについて伺いたい。

答 当市では大洲市総合計画や都市計画マスタープランの策定などを通して、時代のニーズに対応した市街地再生のための整備検討を始めたいと考えています。



このため、市民が住まいを拠点として、また最寄りの商店や公共施設を核として徒歩の範囲内で日常生活に安らぎを享受し、また誰もが安心して快適に生活できる環境が理想の地域の在り方と考えています。

このことから、既存の道路や公園、公共施設の有効活用を始め、商店街の活性化、肱南・肱北の広範囲なエリア内をカバーする循環バスの導入等、他の交通機関との連携なども検討し、生活に密着した交通手段の確保、居住機能の充実、防災・救急機能の強化や環境に優しいライフスタイルの実践等幾つかの課題について、様々な分野が連携し、総合的に進めて行くことが重要であることから、地域の皆さんと連携しながら活性化に取り組んでいきたいと考えています。

水と緑のネットワーク事業について

問 事業の内容について伺いたい。

答 肱南地区のまちづくりは、住環境の充実を

図りながら、地域の魅力を来訪者に感じていただくことで交流人口の拡大に寄与し、地域の活性化に役立てていくことを基本として推進してきました。

今後更にその魅力を増し、地域の活性化に繋げていくためには、点在する観光文化資産の導線を強化する上で、町並みに付加価値を加えていく必要があるため、同事業により肱川の水辺環境をより良くし、肱川の水を取り入れ水と緑を調和させた修景や既水路の水質改善を行うものです。

基本的には河川管理区域内の事業は国が実施するもので、既に城山付近の散策道等は国で実施しています。市の整備内容は、「内堀菖蒲園」の水質改善と、親水空間の新設、水路の新設などですが、まちづくり交付金と合併特例債を併用し、平成19年度から2力年で実施する予定で、平成19年度は城山公園内にある内堀菖蒲園の環境改善と市内水路の暗渠部分を予定しています。

また、平成20年度の水路整備は、「おはなはん通り」

の一部と「まちの駅あさもや」の敷地内の開渠部分を予定していることから、引き続き地元の方々や施設管理者等と意見交換を行っていきたくと考えています。

新設水路のスペースについては、「おはなはん通り」では道路幅員が広がっている範囲内で計画し、「あさもや」では一部植栽箇所の利用を考えています。

なお、楯形樋門の水質改善は、導水的设计など整備が難しいため今後の検討課題とし、内堀菖蒲園は園内での循環にとどめ、水質改善と新たな親水空間の整備を図ることにしています。

